

### マナーアップ特集

あけましておめでとうございます。  
今年も図書館をよろしくお祈りします。

忘れていませんか？



図書館の本は、たくさんの方が利用します。時々本のあいだに、借りた人の忘れ物が挟まれていることがあります。私物のしおり、はがき、メモ、切符、シール、領収書。旅先のパンフレットや思い出の写真など。ひょっとすると大事な書類では…？と思われるものもあります。

- \* 本を返す前に、忘れ物はないかチェックしましょう。
- \* 付箋をつけたときは、必ずはずしてください。
- \* 借りた時のレシートは、はずしてお返しください。
- \* もし借りた本の中に、他の人の私物が挟まっていた時は、お返しの際に職員にお知らせください。



図書館の本を気持ちよく利用するためのマナーです。清々しい新年は、小さな心づかいからはじめましょう。

### 職員のおすすめ《この書き手に注目！》

#### 中島 京子

(なかじま きょうこ 1964年東京都生まれ)  
出版社勤務、フリーライターを経て、2003年『FUTON』（講談社）で作家デビュー。2010年『小さいうち』（文藝春秋）で直木賞を受賞。映画化されます。他に『女中譚』（朝日新聞出版）など、著書多数。  
今回おすすめする『妻が椎茸だったころ』（講談社）は泉鏡花賞を受賞しています。

ある朝、突然死した妻。途方に暮れる退職したばかりの夫は、妻が予約していた料理教室に行くことになり。その準備に椎茸を調理して持ってくるように言われ、初めて台所に立つ夫。妻が残したメモの中に、「私は椎茸だった頃が一番好き」という言葉を見つけます。謎めいたその言葉を料理教室の先生に話すと、先生から思わぬ返事が…。料理の奥深さにひかれた主人公は、妻のレシピの中に彼女を感じながら料理に没頭していきます。そして彼が出した答えは…。

『小さいうち』は有名ですが、この作品は少し趣が違います。まずそのタイトルに惹かれ、読後には熟年夫婦の愛をじんわり感じる事が出来るでしょう。他に様々な偏愛、4編が入った短編集。泉鏡花の世界を垣間見るちょっと怖くて愛おしいお話をどうぞ。  
(帷子分館 濱口)

#### 村山 早紀

(むらやま さき 1963年長崎県生まれ)  
『ちいさいえりちゃん』（あかね書房）で、毎日童話新人賞最優秀賞、第4回椋鳩十児童文学賞を受賞。  
児童書として『シェーラひめのぼうけん』シリーズ（童心社）など。一般書として『ルリユール』（ポプラ社）、『花咲家の人々』（徳間書店）など。

児童向けの作品が多い作家で、私自身も小中学生の頃夢中になって読みました。その中で今になっても読み返すのが、『ささやかな魔法の物語 カフェ・かもめ亭』（ポプラ社）です。海辺の街で70年近く営業している、カフェかもめ亭。今のマスターは三代目の広海さんが務めています。そこへ訪れたお客たちが語る、不思議な体験談が7つ入っています。1話目の「砂漠の花」では、店に飾ってあった美術品展のポスターを見つけた女子高生が、夢で見るという自分の前世を語ります。おとぎ話のような昔の時代、砂漠で家族に置き去りにされた彼女は、辿り着いた泉で一輪の花がつぼみをつけるところに出会うのですが…。

どれも読んでみると少し切なく、それでいて穏やかな気持ちにさせてくれるお話です。寒さが身に染みるような日には、温かい飲み物を用意して、この本を読んでみるのはいかがでしょうか？

(本館 矢澤)

## あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・本			
007.3	オ <b>ビッグデータの罠 (新潮選書)</b> ビッグデータはいいこと尽くめじゃない。電話番号、スケジュール、写真、ドキュメントなど、クラウドに委ねることが当たり前となった時代、便利さと引き換えに個人情報少しずつ侵食されている！新・監視社会への警鐘の書。	岡嶋 裕史	新潮社
歴史・伝記・地理			
210.6	バ <b>〈階級〉の日本近代史 (講談社選書メチエ)</b> 軍国主義台頭の最大の理由は、社会的不平等だった！「階級」という観点から、明治維新から日中戦争勃発前夜までの70年の歴史を、日本近代史の硯学が描き出す。	坂野 潤治	講談社
289.1	シ <b>ラスト・マタギ 志田忠儀・98歳の生活と意見</b> 朝日連峰に生まれ、そこで生き続ける男・志田忠義。山の中で70年過ごした経験を思い浮かべながら、狩猟や釣りのこと、国立公園のこと、遭難救助や保護運動、大井沢の環境のことなどについて書き記す。	志田 忠儀	KADOKAWA
291.5	ヤ <b>ちゃんと歩ける中山道六十九次 東／西</b> 中山道を可能な限り江戸時代の道に沿って歩くためのガイド。詳細地図と街歩きの詳細点、各所・見どころ、最寄りの宿泊施設などを掲載。東は江戸日本橋から蕨原宿、西は蕨原宿から京三条大橋までを収録。	八木 牧夫	山と溪谷社
社会科学			
304	イ <b>新・戦争論 僕らのインテリジェンスの磨き方 (文春新書)</b> 領土・民族・資源紛争、金融危機、テロ、感染症…。地球は危険に満ちている。「イスラム国の正体」「分裂する中国」から「岐路に立つ日本」まで読み解き、サバイバルの時代を生き抜くためのインテリジェンスを伝授する。	池上彰・佐藤優	文藝春秋
366.2	タ <b>転職したけりゃ「四季報」のココを読みなさい！</b> 成長企業を見極めることができる。転職先の定着率や、残業時間、残業代が分かる。転職の可能性もチェックできる。転職希望者に向けて、四季報の読み方を具体例をあげながら解説する。	田宮 寛之	徳間書店
366.3	ト <b>共働きファミリーの仕事と子育て両立バイブル</b> 時短・フルタイム勤務の選び方、保活必勝法、お金の貯め方…。共働きファミリーの仕事と子育て両立のコツを、4コママンガを交えて紹介します。	日経DUAL	日経BP社
369.3	イ <b>放射線を浴びたX年後</b> 被ばくしたのは第五福竜丸だけではなかった…。ビキニ水爆実験から30年後、海の男たちが自らの死を通して送り続ける声を受け取った高校生と教師がいた。彼らの足跡をもとに真実を追い求めた地方局ディレクター10年間の記録。	伊東 英朗	講談社
369.3	ド <b>ドキュメント御嶽山大噴火 (ヤマケイ新書)</b> 2014年9月27日、多くの登山者でにぎわっていた御嶽山が突然、大噴火した。そのときなにが起きたのか。生還した登山者たちの証言を中心に、救助現場からの報告と研究者による分析を収録する。	山と溪谷社	山と溪谷社
自然科学・医学			
420.7	ク <b>世界でもっとも正確な長さや重さの物語</b> 理論と実験に関わる単純さ／美しさを求める科学の本質とは？測定のベースとなる長さや重さの単位。科学の発展に寄与した単位の測定を巧みに語る科学エッセイ。	ロバート・P. クリース	日経BP社
451	イ <b>異常気象と気候変動についてわかっていることと知らないこと</b> 異常気象や気候変動の分野で活躍する新進気鋭の研究者らが、複合的に絡み合う世界と日本の異常気象や、遠く離れたところから日本に飛んでくる「モノ」と気候変動との関係を解説。	筆保 弘徳	ベレ出版
493.7	テ <b>頭痛薬が効かない頭痛になったとき読む本</b> 頭痛薬を飲んでいるのに、頭痛がひどくなってしまったら？頭痛診療の名医が薬物乱用頭痛についてわかりやすく説明するとともに、将来を見据えて対応できるような知識や知恵を解説する。	寺本 純	講談社

- 521 イ **旅行が楽しくなる日本遺産巡礼 西日本30選／東日本30選** 磯 達雄 日経BP社  
1914(大正3)年までにつくられた日本の歴史遺産30をイラスト入りでレポート。「絶景の現存天守・城跡」も収録。西日本は、桂離宮、今帰仁城など。東日本は、東京駅、伊勢神宮など。
- 549.8 コ **青色LED開発の軌跡 なぜノーベル賞を受賞したのか** 小山 稔 白日社  
スタンレー電気では赤色・緑色LEDを開発・事業化。青色LEDの実現を夢見て、58歳で日亜化学に転職。2ヶ月後に青色LED量産化のリーダーとなった著者が、青色LED開発の舞台裏を克明に綴る。

## 産業

- 611.4 ア **オーガニックラベルの裏側** クレメンス・G. アルヴァイ 春秋社  
「環境と人に優しい」が売りのオーガニック食品。だが、その実態は…。有機養鶏や有機農業の知られざる現実から、食品大企業の狡猾な広告戦略まで、徹底ルポ。

## 芸術

- 718.4 ヨ **明日がちょっと幸せになるお地蔵さまのことば** 吉田 さらさ ディスカヴァー・トゥエンティワン  
「変わらないのが一番のご利益」「隣にある幸せに気づく」「夢は持たなきゃ叶わない」日本各地のお地蔵さまの写真とともに、幸せを運ぶお地蔵さまのことばを紹介します。お地蔵さま巡り便利マップつき。

## 日本文学—小説、ルポルタージュ

- 913.6 アベ **キャプテンサンダーボルト** 阿部和重・伊坂幸太郎 文藝春秋  
蔵王に墜落したB29、公開中止になった幻の映画、迫りくる冷酷非情な破壊者…。世界を救うために、2人は走る。現代を代表する人気作家、阿部和重と伊坂幸太郎が、着想・技術のすべて詰めこんだ最強の冒険活劇。
- 913.6 キタ **慶應本科と折口信夫 いとま申して 2** 北村 薫 文藝春秋  
いよいよ父は、慶應本科へと進む。教壇に日本文学史上の巨大人物、西脇順三郎と父の終生の師、折口信夫が登場する。遺された日記を手がかりに綴る、文化薫る著者の父の評伝風小説。
- 913.6 ケツ **決戦！関ヶ原** 伊東 潤 ほか 講談社  
慶長5年9月15日。天下分け目の大勝負、関ヶ原の戦いが勃発。乱世を終わらせる運命を背負ったのは、どの男だったのか。伊東潤、吉川永青、天野純希ら7人の作家が「関ヶ原」を描く。
- 913.6 サイ **六花落々(ふるふる)** 西條 奈加 祥伝社  
下総古河藩の下士・小松尚七は、藩の重臣・鷹見忠常にその探究心を認められ、世継ぎの御学問相手に抜擢される。やがて江戸に出た主従は蘭医らと交流するうちに、時代の流れに呑みこまれ…。
- 913.6 サト **晩鐘** 佐藤 愛子 文藝春秋  
老作家・藤田杉のもとにある日届いた訃報。それはかつての夫、畑中辰彦のものだった。尊敬し信頼もしていた辰彦が、後に杉を苦しめたのはなぜだったのか。杉は辰彦のほんとうの姿を探し始めた…。
- 913.6 サト **鳩の撃退法 上・下** 佐藤 正午 小学館  
かつての売れっ子作家・津田は、古書店を営んでいた老人の形見の鞆を受け取った。中には、数冊の絵本と古本のピーターパン、そして3千万円を超える現金が。しかし思いもよらぬ事実が判明し…。
- 913.6 サワ **波の音が消えるまで 上・下** 沢木 耕太郎 新潮社  
香港返還の前日に立ちよったマカオで、航平はバカラの熱に浮かされる。まるで「運命」に抗うかのように、偶然が支配するバカラに必然を見出そうともがく。謎の老人との出会いが、彼をさらなる深みへと誘っていき…。
- 913.6 ソネ **TATSUMAKI 特命捜査対策室7係** 曾根 圭介 講談社  
5年前に起きた失踪事件のタレコミがあった。現役刑事が容疑者になったが、有力な手掛かりがなく捜査は終了していた。傍若無人に周りを引っかかり回す女性刑事が、未解決事件を洗いなおす！
- 913.6 ムラ **図書館奇譚** 村上 春樹 新潮社  
図書館の地下のその奥深く、羊男と恐怖と美少女のはざままで、ぼくは新月の闇を待っていた。「カンガルー日和」所収の名短編を改稿し、ドイツの気鋭画家によるミステリアスなイラストを添えて収録。

913.6	ムレ	福も来た パンとスープとネコ日和	群 ようこ	角川春樹事務所
素材にこだわり、手間ひまをおしまない美味しいサンドイッチと滋味深いスープ。編集者を辞めた後、自分らしいお店を営んでいるアキコは、愛猫を失った悲しみを抱えつつも、温かな人々に助けられ、日々を丁寧に生きています…。				
913.6	モロ	波止場浪漫 上・下	諸田 玲子	日本経済新聞出版社
維新以降、清水で地元の名士となった次郎長。養女となったけんが大人になる前に出逢った西洋医との関係が深まるにつれて、やがて…。著者自らのルーツを遡る、町の物語、恋の物語。				
913.6	ユイ	逢魔	唯川 恵	新潮社
妹のようにかわいがっていた娘の指図で、毒をもらった女の恨み。死してなお、毎夜、愛しい男の元を訪れる女の情念…。恋愛小説の名手が怪談の名作に挑み、誕生した究極のエロス。				
916	オオ	ブルネイでバドミントンばかりしていたら、なぜか王様と知り合いになった。	大河内 博	集英社インターナショナル
ブルネイと日本の架け橋になる！ 堅い決意で世界一リッチな王国ブルネイの大使館に赴任したが、失敗と挫折の連続。ストレス解消に、中学時代に熱中したバドミントンを始めると…。下っ端外交官がなしとげた奇跡と感動の実話。				
916	サト	認知症になった私が伝えたいこと	佐藤 雅彦	大月書店
認知症の診断を受けて9年、いまもマンションでひとり暮らしを続ける著者が、自身の生き立ち、毎日の過ごし方、認知症に対する偏見をなくすための活動などについて綴る。				

## 展 示 の ご 案 内

■ 1 / 6 (火) ~ 2 9 (木) ■

### 野菜作りを楽しもう展 (本館1階)

畑からベランダ菜園まで、楽しく育てておいしく食べられる野菜作りに関する本を紹介します。



大好評につき2回目！ 県立加茂農林高校  
グリーンショップかものう出張販売

1月10日(土) 午前10時~正午 本館1階ロビーにて

高校生が育てたシンビジウム(800~3000円)、手作りジャム(250円)などを販売します。  
本と花のコラボレーションを楽しんでください。

## 新 春 か る た 会 の ご 案 内

図書館・読書サークル共催事業 百人一首・かるた会 を開催します。初心者・経験者に分かれてゲームをします。大人も子どもも、気軽に参加してください。

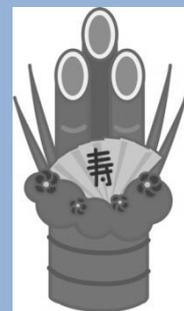
お正月の恒例行事、かるた遊びをとおして、交流を深めましょう！

日時： 1月17日(土) 午前9時30分~11時30分

会場： 広見公民館 ゆとりピア (図書館ではありませんのでご注意ください)

参加費： 無料 申込み受付開始： 1月6日から

申込・問合せ先： 可児市立図書館本館 電話(0574)62-5120



開館時間【本館】平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00  
【分館】全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日、  
年末年始 (1月1~5,12,19,26,30日)



「図書館だより」2015年1月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.tosyokan.kani.gifu.jp/> をどうぞご利用ください。